

// 会社の概要 (平成26年11月30日現在)

商号 アルテック株式会社
 設立年月日 昭和51年5月15日
 資本金 5,527,829千円
 従業員数 128名 (グループ全体506名)
 所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
 住友入船ビル2階

// 役員 (平成27年2月26日現在)

代表取締役社長 張 能 徳 博
 取締役専務執行役員 瀧 川 賢 一
 取締役執行役員 阪 口 則 之
 取締役執行役員 陶 山 秀 彦
 取締役執行役員 池 谷 壽 繁
 社外取締役 宮 本 康 廣
 常勤監査役 藤 田 清 貴
 社外監査役 石 川 剛
 社外監査役 豊 島 絵

 執行役員 井 上 博 行
 執行役員 山 村 研 輔
 執行役員 井 上 賢 志

// ホームページリニューアルのお知らせ



当社は平成26年12月よりホームページを刷新いたしました。当社の事業や取扱商品を皆様によりわかりやすく正確にお伝えするために写真や動画を多く掲載し、また必要な情報にすぐにアクセスできるような構造にしております。是非一度、<http://www.altech.co.jp/>をご訪問ください！

// 株式の状況 (平成26年11月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 19,354,596株
 株主数 7,133名
 大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
竹内エムアンドティ株式会社	900,000	5.25
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	543,900	3.17
株式会社三菱東京UFJ銀行	505,920	2.95
由利和久	450,276	2.63
共同印刷株式会社	432,900	2.52
株式会社アルミネ	391,000	2.28
村永八千代	387,076	2.26
竹内正明	247,000	1.44
野村證券株式会社	224,300	1.31
ゴールドマンサックスインターナショナル	174,479	1.02

(注) 1. 当社は、自己株式2,207,927株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 2. 持株比率は、自己株式2,207,927株を控除して計算しております。

// 株主メモ

事業年度
 定時株主総会
 期末配当金受領株主確定日
 中間配当金受領株主確定日
 株主名簿管理人
 (特別口座の口座管理機関)
 同連絡先
 (郵便物送付先)

毎年12月1日から翌年11月30日まで
 2月
 11月30日
 5月31日 (中間配当を実施する場合)
 三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 電子公告により当社のホームページ
 (<http://www.altech.co.jp/>) に掲載します。
 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公 告 の 方 法

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



第39期報告書

平成25年12月1日～平成26年11月30日

ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援・ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第39期（平成25年12月1日から平成26年11月30日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、政府等による経済・金融政策を背景に、企業業績が回復基調にある中で設備投資が緩やかに増加し、雇用環境にも改善が見られましたが、消費税率引き上げや円安進行に伴う消費者マインドの低下により個人消費の下押し懸念が見られました。海外においては、米国経済は回復傾向にあるものの、中国をはじめとする新興国経済の景気減速が見られ、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような市場環境の下、当社グループは新たな販路獲得に取り組みつつ、経営基盤の強化を図るため、コスト削減および事業の構造改革を継続的に実施し、経営効率の改善に努めてまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は16,235百万円（前期比2.1%減）、営業利益については、引き続きコスト削減を推進いたしました。売上減少や円安の影響によるコスト増加要因など吸収できず288百万円（前期比6.8%減）、経常利益については、為替差益が減少したことに加え、持分法による投資損益が利益から損失に転じたこと等から205百万円（前期比62.4%減）、当期純利益については、特別損失として減損損失を計上したものの特別利益として固定資産売却益を計上したこと等から133百万円（前期比77.4%増）となりました。

セグメント別では、商社事業については、顧客ニーズに対応した商品戦略の推進や販促施策の強化に取り組んだことにより3Dプリンタ関連機器・消耗品の販売は好調に推移しましたが、主力の大型機械・機器の販売は本格的な設備投資需要回復に到達しなかったことや円安の影響等により苦戦した結果、売上高は9,739百万円（前期比3.5%減）、セグメント利益は391百万円（前期比19.2%減）となりました。プリフォーム事業については、既存取引先への拡販や新たな販路獲得等に取り組み、コスト削減および生産効率改善に努めた結果、売上高は5,734百万円（前期比13.1%増）、セグメント損失は8百万円（前期は56百万円の損失）となりました。その他の事業については、輸送用リサイクルプラスチックパレットの販売終了に伴い、売上高は785百万円（前期比46.2%減）となりましたが、前期に引き続き事業構造改革を進めたことにより、セグメント利益は79百万円（前期比89.4%増）となりました。

引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

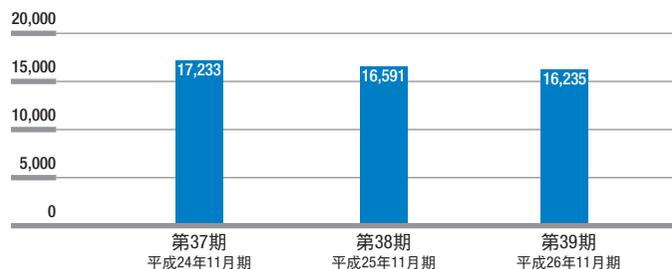


平成27年2月
代表取締役社長

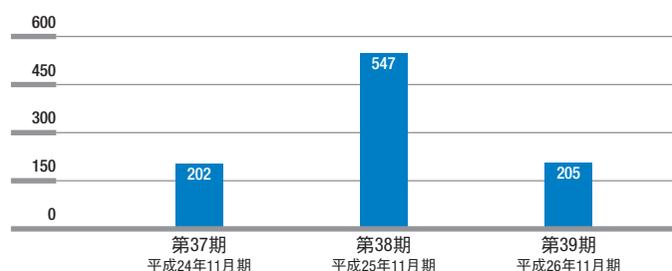
張能 徳博

連結業績ハイライト

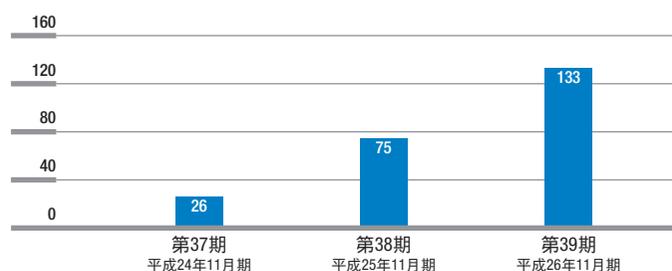
売上高（単位：百万円）



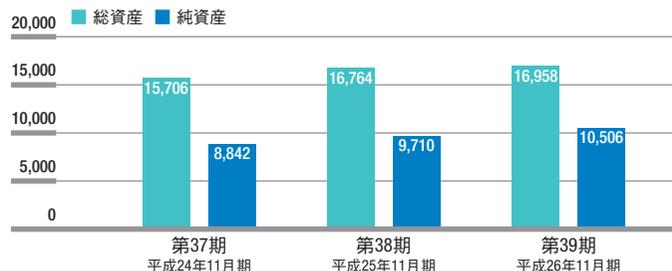
経常利益（単位：百万円）



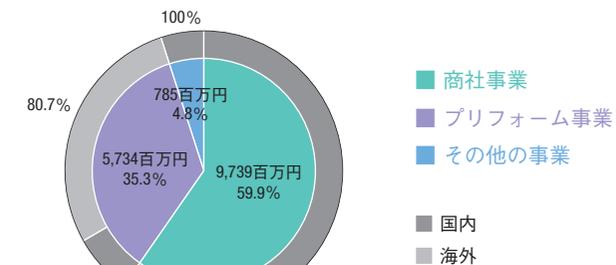
当期純利益（単位：百万円）



総資産／純資産（単位：百万円）



事業別、地域別売上高構成比



トピックス

最先端技術による商品のご紹介



接触／非接触ICカード & R/W 試験装置 (Micropress SAS)

IC技術は、交通カードやクレジットカード、SIMカードなど私たちが毎日利用するカードの他に、流通業界での製品管理や企業の入退室／勤怠管理など、人やモノの動きをリアルタイムに把握するツールにも利用され、需要が高まっています。本装置はISO、EMVCo、NFC Forum等、複雑なIC規格の試験などを自動で行うことができる高い信頼性を得ている装置です。

音響効果（振動）を利用した画期的なミキサー、“LabRAM II” (Resodyn Acoustic Mixers, Inc.)

攪拌羽根がなく、共振による上下の運動だけで気体、液体、高粘度物質、固体、粉末など同質・異質の物質どうしを短時間で完全に混合する優れたミキサーです。医薬・化粧品、電子部品、セラミック、燃料電池等、あらゆる分野に貢献しています。



話題の3Dプリンタ、“Objet 1000” (Stratasys Ltd.)

世界最大の造形サイズと硬質素材・軟質素材の複数樹脂対応で非常に話題となっております。



“Objet 1000”で出力したモンキレンチ。1回のみ出力で完成します。